

平成二十四年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 学校裁量問題は、**三** です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。

一 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

これは、卒業式を前にしたある中学生が、小学校時代の担任の先生にあてた手紙です。

拝啓

寒さもやわら¹ぎ、日差しに春の気配が感じられる今日このごろとなりました。先生にはごぶさ²たしておりますが、お元気ですか。私は、勉強やえんげき部の活動で、充実した中学校生活を過ごしていました。

さて、卒業式を目前に控¹え、お世話になった先生の優しい笑顔を思い出し、お手紙を差し上げました。先生は、小学校の卒業式の日、若山牧水の短歌を紹介しながら、私²たちを励²ましてくれたことを覚えていますか。

若竹の伸びゆくごとく子ども等³よ真直³ぐにのばせ身をたましひを

この短歌のとおり、まっすぐに成長していくためには、自分の将来をしつかりと考えることが大切だと気づきました。そのため、これからも広い視野をもち、多くのことを学びながら、自分の生き方³を模索³していくつもりです。

久しぶりに先生にお会いしたいので、卒業式が終わりましたら、先生を訪ねて、小学校に³行きたいと思っています。

最後になりましたが、先生のごけんこうをお祈りしています。

敬具

三月〇日

〇〇〇〇 先生

〇〇〇〇

問一 一線1、2、3の読みを書きなさい。

問二 一線1、2、3を漢字で書きなさい。

問三 手紙文の中にある短歌を声に出して読もうとき、どこで間をおくのがよいですか。最も適當なものを、ア～エから選びなさい。

ア 初句のあと

イ 第二句のあと

ウ 第三句のあと

エ 第四句のあと

問四 行きたいと思っている

を、謙讓語と丁寧語を使って敬意を高める表現に書きかえ、手

紙文を完成させなさい。

二 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

これは、「実良」が、弓道の団体戦(三人一組で順番に矢を一本ずつ射て、的にあたった数を相手校と争う競技)に、「早弥」、「春」とともに出場したときの話です。

(まはら三桃「たまごを持つように」による)

(注) 本座——射場にある、弓を射る前に控える位置。

射位——弓を射る位置。

所作——一定の形式にのつとつた動作。

矢道——射場からのある場所までの、芝などが敷かれたところ。

丹田——へその下のあたり。

問一——線1「これから始まるのが、楽しみでならないのだ」とありますが、的に向かって矢を射ることが、実良にとって楽しみでならないのは、矢を射たとき、どのような気持ちになるからですか、三十字程度で書きなさい。

問二——線2「この弓は、自分がよって立つもの」とありますが、これは、実良にとって弓がどのようなものであるということですか、最も適当なものを、ア、エから選びなさい。

ア 周囲の人たちに迷惑をかけてばかりいた自分に、成長するきっかけを与えたものであるということ。

イ 自分が賞賛に値するかどうかについて、周囲の人たちが判断をする根拠となるものであるということ。

ウ 周囲の人たちに遠慮することなく、自分のペースで生活していく上で頼りになるものであるということ。

エ 自分が周囲の人たちから認められていることを確認できる、心の支えとなっているものであるということ。

問三——線3「もしかすると、もっと大事なものは、仲間かもしれない」とありますが、実良は、どのようなことをきっかけとして、このように思ったのですか、七十字程度で書きなさい。

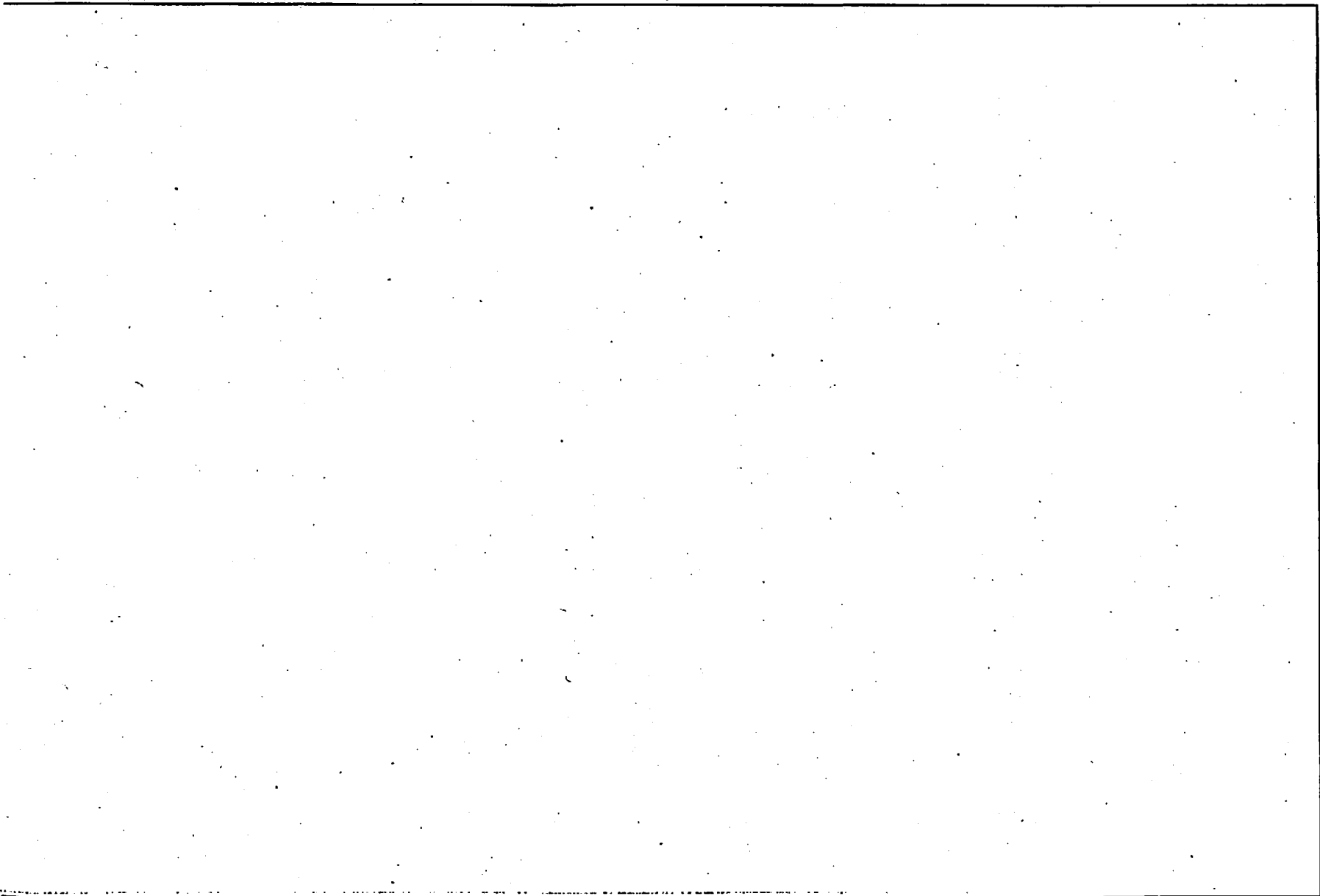
問四——線4「十か月分のお返しをしてやるのだ」とありますが、「十か月」が実良にとってどのような期間だったのかを、次のようにまとめるとき、に当てはまる最も適切な表現を、文中から十字以内で書き抜きなさい。

矢を射ても的にあたらずかすってばかりで、試合に出られないほど

期間。

学校裁量問題

三 次の文章を読んで、問いに答えなさい。



四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

A 笛は横笛いみじうをかし。遠うより聞ゆるがやうやう近うなりゆくもをかし。近かりつるが遙かになりて、いとほのかに聞ゆるもいとをかし。車にても、徒歩よりも、馬にても、すべて懐にさし入れて持たるもなにも見えす、さばかりをかしきものはなし。まして聞き知りたる調子などは、いみじうめでたし。

B 笙の笛は、月の明かきに車などにて聞き得たる、いとをかし。所せくもてあつかひにくくぞ見ゆる。さて、吹く顔やいかにぞ。それは、横笛も吹きなしなめりかし。

(清少納言「枕草子」による)

(注) さばかり——これほど。 調子——曲。

笙の笛——管楽器の一つ。「笙」のこと。 所せく——大きくて。

吹きなしなめりかし——吹き方次第であるようだ。

問一 ——線「やうやう」とありますが、これを現代かなづかいで書きなさい。また、ここでの意味として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア やつと
- イ しいに
- ウ ますます
- エ とうとう

問二 AとBの文章を学習した生徒が、横笛と笙の笛に対する筆者の考えを、次のようにまとめました。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

横 笛	笙 の 笛
<p>① が変わることにより、</p> <p>② が変化するのは趣深い。</p> <p>・小さくて身に付けていてもわからないところがよい。</p>	<p>・月の明るい夜に牛車に乗っていて聞こえるのは趣深い。</p> <p>・大きくて扱いにくいところがよくない。</p>

(1) ①、②に当てはまる最も適当なものを、それぞれア～エから選びなさい。

- ア 笛の種類
- イ 笛の吹き方
- ウ 笛の音の聞こえ方
- エ 笛との距離
- オ 笛の持ち運び方

(2) 〰〰〰線「身に付けていてもわからない」は、Aの文章の、どの部分にもとづいてまとめたいものですか、二十文字以内で書きなさい。

問題番号	正										配点	採点基準			
	答												通し番号		
	問一			問二			問三			問四					
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1				2	3
1	ひか(え)										2	①	<p>一 問四 「うかがい」などの謙譲語と、「ます」などの丁寧語が、それぞれ適切に用いられ表現されているものを正答とする。</p> <p>二 問一 1 「自分も矢といっしよに飛び立つような」気持ちになることが、適切に表現されているものを正答とする。</p> <p>2 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。</p> <p>3 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥のあるものについては、各一点を減じる。</p> <p>4 減点の結果がマイナス点にならないようにする。</p> <p>三 問三 1 ①「春や早弥も、おそらく同じ気持ちで、自分と同じように的に向かって」ことがわかったことと、②「なんとも言えない強い気持ちになった」ことの二点が適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。</p> <p>2 その他については、問一の採点基準2、3、4に準じる。</p> <p>四 問四 1 ①価値基準がその時代の意味の体系をつくりだしているものであることと、②価値基準が日常的で当たり前でありすぎるために意味の体系を疑わないことの二点の関係が、指示された語を使い、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。</p> <p>2 その他については、二の問一の採点基準2、3、4に準じる。</p>		
2	はげ(まして)										2	②			
3	もさく										2	③			
4	和(らぎ)										2	④			
5	健康										2	⑤			
6	ウ										3	⑥			
7	ウ										3	⑦			
8	ウ										3	⑧			
9	ウ										3	⑨			
10	エ										3	⑩			
11	エ										3	⑪			
12	エ										3	⑫			
13	エ										3	⑬			
14	エ										3	⑭			
15	エ										3	⑮			
16	エ										3	⑯			
17	エ										3	⑰			
18	エ										3	⑱			
19	エ										3	⑲			
20	エ										3	⑳			
21	エ										6	㉑			
22	エ										3	㉒			
23	エ										6	㉓			
24	エ										3	㉔			
25	エ										3	㉕			
26	エ										3	㉖			
27	エ										3	㉗			
28	エ										3	㉘			
29	エ										3	㉙			
30	エ										3	㉚			
31	エ										3	㉛			
32	エ										3	㉜			
33	エ										3	㉝			
34	エ										3	㉞			
35	エ										3	㉟			
36	エ										3	㊱			
37	エ										3	㊲			
38	エ										3	㊳			
39	エ										3	㊴			
40	エ										3	㊵			
41	エ										3	㊶			
42	エ										3	㊷			
43	エ										3	㊸			
44	エ										3	㊹			
45	エ										3	㊺			
46	エ										3	㊻			
47	エ										3	㊼			
48	エ										3	㊽			
49	エ										3	㊾			
50	エ										3	㊿			

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。